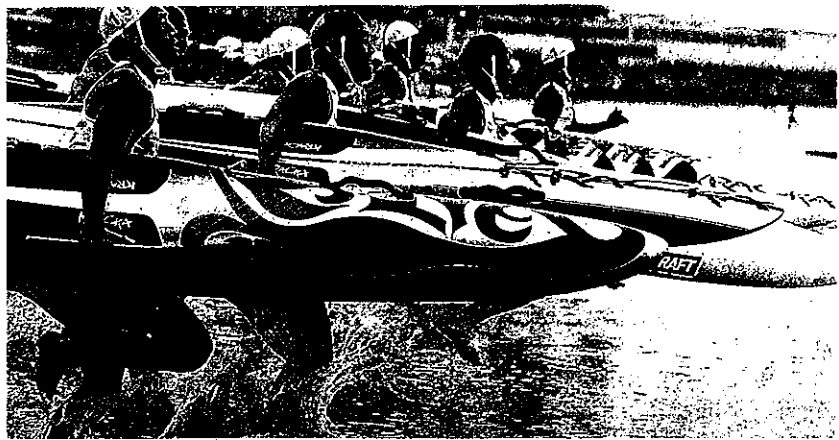


# 第36回全日本ライフセービング選手権大会

# 速く力強く 命救う技

ゴールの先に、救う命が生命から発展したスポーツ「ライフセービング」の理念だ。その技術を全日本ライフセービング選手権大会で、23、24の両日、片瀬西浜海岸(横浜市)では、第一人者の敗退やなど様々なドラマがあった。



合図とともにいっせいに駆け出すボードレース男子の選手たち  
＝福岡亜純撮影



いっせいに海に飛び込むオーシャンマンの選手たち  
＝安富良弘撮影



ゴールに向かって走る長竹康介

上旬にエジプトであった世界選手権では、日本代表が前回の11位を上回る総合8位に入賞。今年大会でも、代表選手の活躍が目立った。  
長竹康介(28)は、「鉄人」

長竹が「鉄人」など、権から2週間あまりという過密スケジュールだったが「持久力を高めるトレーニングで調整した。3冠は気持ちいい」と笑った。女子のオーシャンウーマンを制した伊藤彩香(26)も代表



両手を上げて歓声に応える植木将人

17歳坂本、サーフレース制覇

## 高校生の栄冠、全種目通

今大会は、将来のライフセービング界を担う新鋭の躍進も光った。最大の驚きは、泳力を競うサーフレースを制した高校2年生の坂本陸(17)。約350mのレースの折り返し時点で彼の



高校2年ながら優勝した坂本陸

力を利用し、10番一気にトップに「泳ぎ慣れている優勝できてうれし本での高校生の栄目を通じて初の快生後5ヵ月からた。だが、プールを任せなかった。フセービングを始めての状況に合わせて自分の先を追い越頑張りた」と笑大学生も5種目男子ビーチスプリ大学4年生の森谷「後半の加速がうた」。女子ボードした大学3年生のも「他の大学生のようになった」。

## 新女王・藤原「遊佐さんいたからこそ」

初優勝の瞬間、世界王者の藤原(29)に笑顔はなかった。女子ビーチフラッグス決勝。会場から響き渡る声援をよそに、静かに拳を握りしめた。  
身長155センチの小柄だが、爆発的な瞬発力が持ち味。2週間前の世界選手権では、金メダルを獲得した。だが全日本では、17連覇中の遊佐に何度も返された。「遊佐さんは(競技を始めた)13年前から頂点に

女子ビーチフラッグスで初優勝

偉大な選手だった。今季から所属チームを変え、精神面を重視も「動揺はなかった」。9本目したトレーニングを繰り返してき10人で争う決勝は1レースで1人ずつ落選し、9本目で勝者が決まる。スタートからフラッグまでの距離は20分。一瞬の気の迷いが、命取りになる。8本こまで来られた

V18逸した遊佐「新たなスタートを」



8本目で敗れ、藤原梢(右)と抱き合う遊佐雅美

大記録が、ついに止まった。女子ビーチフラッグスの決勝8本目。砂浜に足を取られた遊佐雅美(37)は、フラッグを取り損ねた。18連覇は逃したが、次の瞬間、笑顔で藤原と抱き合った。「今季は良かった」と振り返る。春先に突発性難聴で左耳の聴力を失い、引退も考えた。だが「人の命を守るライフセーバーがあきらめてはいけない」と思い立ち、現役を続行。世界選手権の同種目では、藤原に続いて銀メダルを取った。  
来季も競技を続ける。「ライフセービングの知名度をもっと上げるのが私の仕事。新たなスタートを切りたい」

## 来季以降も「持ち味発揮」

男子V3松沢  
300m沖のブイをパドルでこいで回るサーフスキーレース男子の松沢(32)は、安定したレース運びで3連覇を達成。「タフなレースだったが、優勝してほっとしている。大会前の合宿で、レース形式の練習を重ねたのが好結果につながった。長野県白馬村で生活しながら、週末は静岡・下田でライフセービング活動をしている。「連覇は、日々の練習の積み重ね。年齢を気にせず、来季以降も頑張りたい」



優勝。折り返しから波をつかみ、逆転で制した。「後半で追い上げる自分の持ち味を出し切れた」と喜んだ。

## 勝利の先に救うべき命

日本ライフセービング協会・小峯力理事長のあいさつ(要旨) (水辺の人命救助から発展した)ライフセービングでは、競技の勝利の先に救うべき命があることを忘れてはならない。大会を通じて「安心して海で泳いでください」というメッセージがいかにかに届くか問われる。世界選手権で日本代表は活躍したが、中でも(救命技術を競う)SERCでの2位は、極めて価値がある。選手に深く敬意を表したい。

主催 日本ライフセービング協会  
後援 文部科学省 国土交通省 総務省消防庁 海上保安庁 神奈川県 藤沢市 日本赤十字社 オーストラリア大使館 朝日新聞社 日刊スポーツ新聞社ほか  
特別協賛 第一三共

## 記録

- 【男子】サーフレース ①坂本陸(西浜) ②風戸(館山) ③小山(和田浦) マサ
- ④松沢(下田) ⑤鈴木(湯河原) ⑥藤原(勝浦) マホドレー
- ⑦長竹(勝浦) マオシヤンマン ⑧長竹
- ⑨加藤(勝浦) マオシヤンマン ⑩長竹
- ⑪藤原(勝浦) マオシヤンマン ⑫長竹
- ⑬藤原(勝浦) マオシヤンマン ⑭長竹
- ⑮藤原(勝浦) マオシヤンマン ⑯長竹
- ⑰藤原(勝浦) マオシヤンマン ⑱長竹
- ⑲藤原(勝浦) マオシヤンマン ⑳長竹
- ㉑藤原(勝浦) マオシヤンマン ㉒長竹
- ㉓藤原(勝浦) マオシヤンマン ㉔長竹
- ㉕藤原(勝浦) マオシヤンマン ㉖長竹
- ㉗藤原(勝浦) マオシヤンマン ㉘長竹
- ㉙藤原(勝浦) マオシヤンマン ㉚長竹
- ㉛藤原(勝浦) マオシヤンマン ㉜長竹
- ㉝藤原(勝浦) マオシヤンマン ㉞長竹
- ㉟藤原(勝浦) マオシヤンマン ㊱長竹
- ㊲藤原(勝浦) マオシヤンマン ㊳長竹
- ㊴藤原(勝浦) マオシヤンマン ㊵長竹
- ㊶藤原(勝浦) マオシヤンマン ㊷長竹
- ㊸藤原(勝浦) マオシヤンマン ㊹長竹
- ㊺藤原(勝浦) マオシヤンマン ㊻長竹
- ㊼藤原(勝浦) マオシヤンマン ㊽長竹
- ㊾藤原(勝浦) マオシヤンマン ㊿長竹